



地球上すべての人びとに平和に生きる権利を

9条地球憲章の会 第39回 公開研究会

きよすえ あいさ
清末 愛砂さんの講演

憲法学者がなぜ戦場に行くのか

平和的生存権・9条・24条のトライアングル論への道のり



清末 愛砂 (きよすえ あいさ)

★プロフィール

1972年生まれ。山口県出身。室蘭工業大学大学院教授。大阪大学大学院助教、島根大学講師、室蘭工業大学大学院准教授を経て、2021年6月より現職。専門は憲法学（特に24条の平和主義）、ジェンダー法学、アフガニスタンのジェンダーに基づく暴力と女性運動。

★著作

- 『平和に生きる権利は国境を超えるーパレスチナとアフガニスタンにかかわって』（共著、あけび書房、2023年）
- 『北海道で考える＜平和＞ー歴史的視点から現代と未来を探る』（共編著、法律文化社、2021年）
- 『《世界》がここを忘れても アフガン女性・ファルザーナの物語』（寿郎社、2020年）
- 『ペンとミシンとヴァイオリン アフガン難民の抵抗と民主化への道』（寿郎社、2020年）
- 『平和とジェンダー正義を求めてーアフガニスタンに希望の灯火を』（共編著、耕文社、2019年）
- 『自衛隊の変貌と平和憲法 脱専守防衛化の実態』（共編著、現代人文社、2019年）
- 『公文書は誰のものか？ー公文書管理について考えるための入門書』（共編著、現代人文社、2019年）
- 『右派はなぜ家族に介入したがるのかー憲法24条と9条』（共著、大月書店、2018年）
- 『自衛隊の存在をどう受け止めるかー元陸上自衛官の思いから憲法を考える』（共編著、現代人文社、2018年）
- 『緊急事態条項で暮らし・社会はどうかー「お試し改憲」を許すな』（共編著、現代人文社、2017年）
- 『パレスチナー非暴力で占領に立ち向かう』（草の根出版会、2006年）

2024年

6月17日(月) 午後6時30分~8時30分

オンラインZOOMによる開催

参加費；1000円

参加申込みは、次のURLか、右のQRコードよりお願いします。

<https://:.....>

講演要旨

講師は大学院生の頃から武力行使の現場を見ることで、戦場のリアリティとそれをつくりだす諸々の構造を分析しようと試みてきました。

その長年の経験と学びを経て、戦場は国境を越えた地域や国にだけ存在するのではなく、自分の足元の生活、とりわけ支配関係がつくられやすい家族のような親密圏にも〈戦場〉というべき状況があるのだから、その双方を見ないといけないという結論にいたりしました。

共通する大きな特徴の一つは、支配関係に基づく暴力や差別です。その学びから、日本国憲法の前文の平和的生存権・9条・24条の関係性をとらえなおし、日常生活に活かしていくことが、戦場をなくすための手段の一つとして強く求められると考えるようになりました。

本講演では、講師のこれまでの経験に基づく学びを参加者と共有し、平和的生存権・9条・24条の意義をともに学び直すときを持ちたいと思います。

連絡先 9条地球憲章の会事務局 9.globalpeace@gmail.com

HP <https://www.9peacecharter.org/>

FB <https://www.facebook.com/9peacecharter/>